

(単位：mm)

The technical drawings illustrate the installation of the flush valve. The side view on the left shows the flush valve body with a drain pipe (排水管) and a salt drain pipe (塩ビ排水管 (TOTO Y9207の場合)). Dimensions include a distance of 95±10 mm from the wall to the center of the drain pipe, and a total distance of 450 mm from the wall to the center of the salt drain pipe. The top view on the right shows the flush valve body with two water supply ports (給水Rc1/2) and a drain pipe (排水管). Dimensions include a distance of 115±10 mm from the center of the water supply port to the center of the drain pipe, a distance of 175±10 mm from the center of the water supply port to the center of the flush valve body, a distance of 80±10 mm from the center of the water supply port to the center of the flush valve body, and a distance of 120~155 mm from the center of the drain pipe to the center of the flush valve body. The distance from the center of the flush valve body to the center of the toilet fixture (便器取り付け中心線) is also indicated.

排水管

塩ビ排水管
(TOTO Y9207の場合)

95±10

450

給水Rc1/2
壁給水の場合

115±10

175±10

80±10

排水管

120~155

給水Rc1/2
床給水の場合

115±10

便器取り付け中心線

※排水高さの調節代は、120~155mmです。

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けください。（は本紙、はウォシュレットの施工説明書を参照ください）

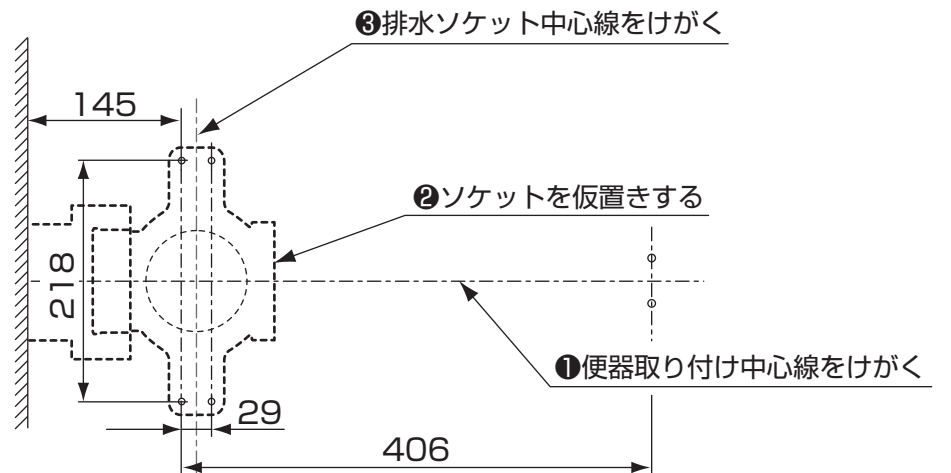


4 排水ソケットの仮置き

- ①便器取り付け中心線をけがく。
- ②下図を参照して排水の接続が所定の位置になるように排水ソケットを仮置きする。
※このとき、便器取り付け中心線と排水ソケットの中心がほぼ一致するように注意してください。
- ③排水ソケット中心線をけがく。
- ④排水ソケットを外し、けがいた取付穴位置（4カ所）にφ3程度の下穴をあける。

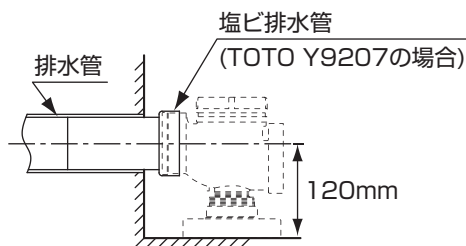
（排水管の出代95mmの場合）

（単位：mm）

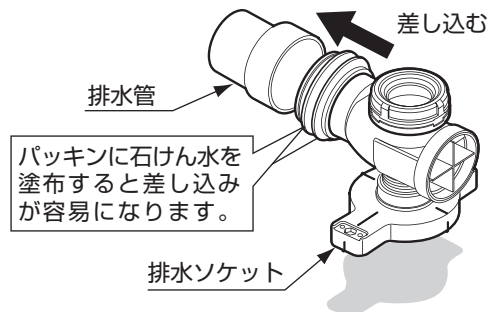


排水ソケットの仮置きの仕方

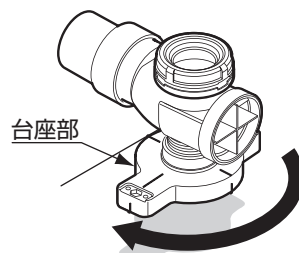
- ①排水管高さが、120mm（調節代：120～155mm）であることを確認する。



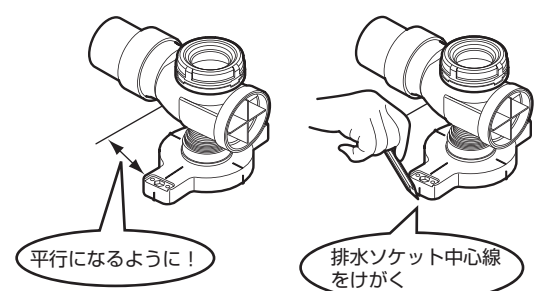
- ②台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



- ③台座部を床に当たるまで回転させる。



- ④つばが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。

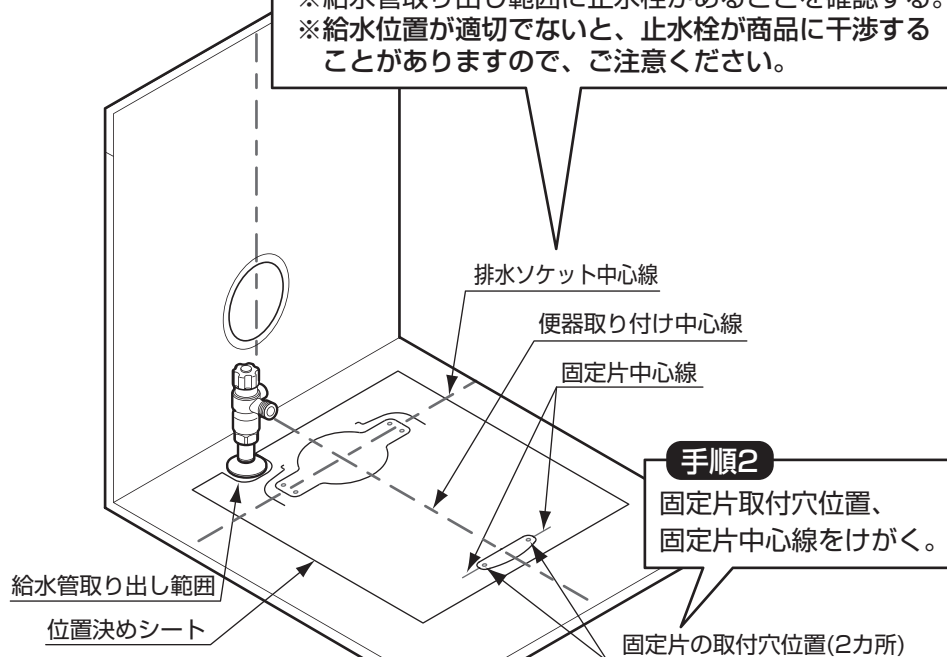


5 固定片の取り付け

（位置決めシート設置状態【床給水の場合】）

手順1

位置決めシートを便器取り付け中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。
※給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。



手順2

固定片取付穴位置、固定片中心線をけがく。

固定片の取付穴位置(2カ所)

手順5

接着ブロックの上に付属の注意書(クラフト紙)をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。

手順3

位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで固定する。
※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

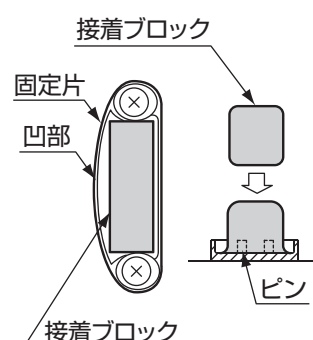
手順4

固定片は、下図のように接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、そのあと指で軽く押す。

<接着ブロックについて>

- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
- ※接着ブロックの方向性は特にありません。
- ※気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。



6 マルチ排水ソケットの取り付け

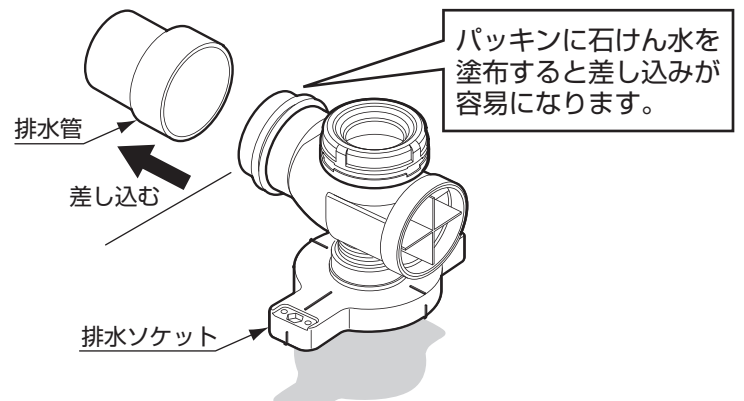
⚠注意



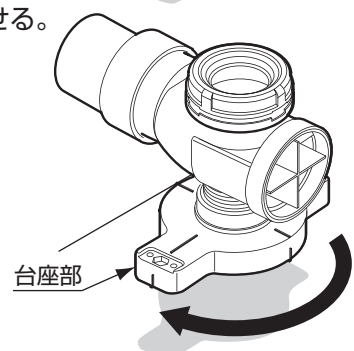
必ず実行

排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
確実ににはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

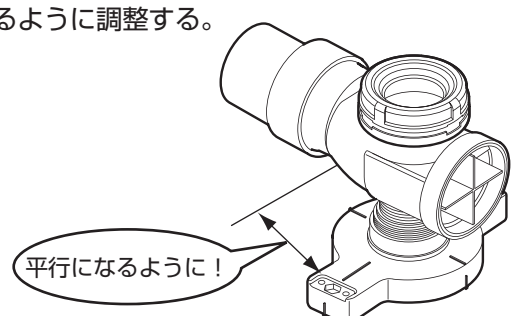
- ①台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



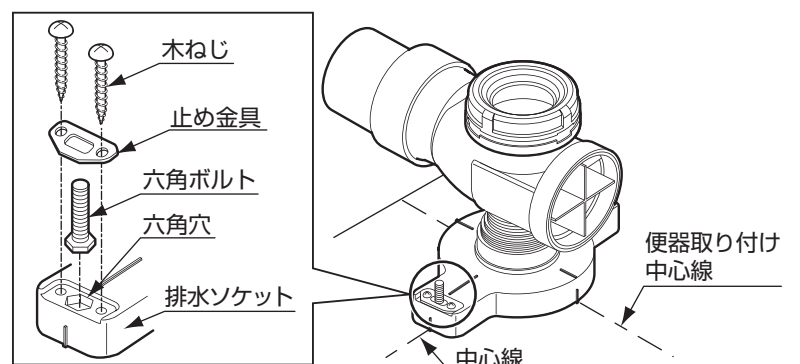
- ②台座部を床に当たるまで回転させる。



- ③つばが壁に平行になるように調整する。



- ④排水ソケット固定部（4カ所）に六角ボルトを立て、止め金具を通したうえで、木ねじで床に固定する。



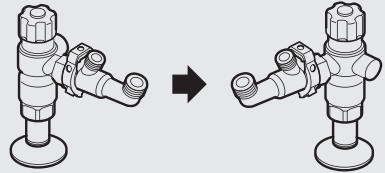
7 便器の取り付け

手順1

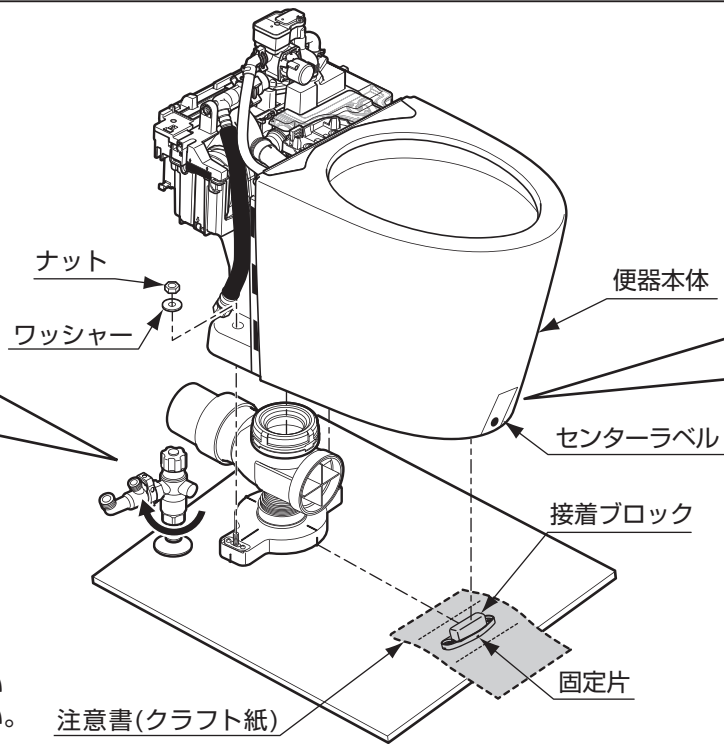
分岐金具を外向きに回転させておく。
(便器に干渉しないように)

注 意

便器を取り付ける際は、分岐金具を
外向きに回転させておいてください。
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、
便器本体または分岐金具が破損
するおそれがあります。



※壁面に幅木があり便器が取り付けられない
場合には、幅木をカットしてください。

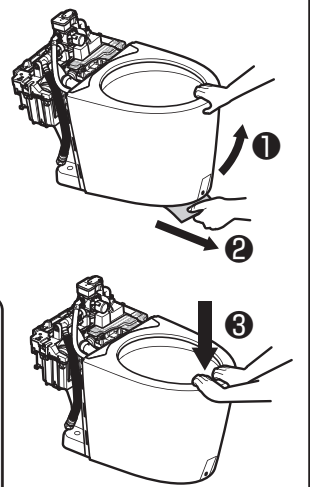


手順3

- ① センターラベルを基準に
便器の位置を微調整する。
- ② 便器先端を少し持ち上げ、
固定片の上のクラフト紙を
引き抜く。
- ③ 接着ブロックがつぶれるまで、
便器をしっかりと押さえ、
センターラベルをはがす。

注 意

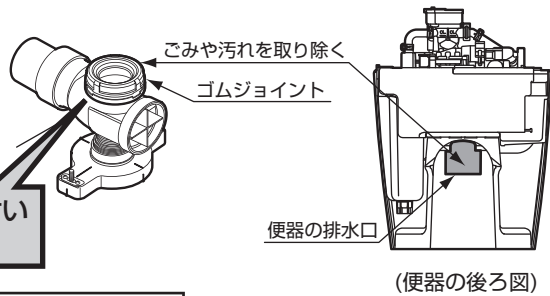
- ・ センターラベルを基準に便器の位置
を微調整してください。
位置合わせ後、センターラベルを
はがしてください。
- ・ 便器が床につくまでしっかり便器を
押さえてください。



手順2

- ① 便器排水口および排水ソケットの接続部
周辺のごみや汚れを取り除く。
- ② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは下図を参考にしてくだ
さい。

ゴムジョイントがきちんと取り付け
ていることを確認してください。

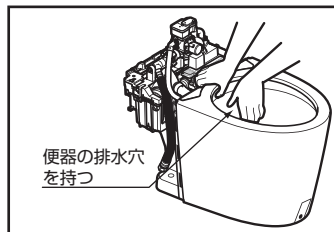


ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、
目安として **壁から10~15mm** を目指して
真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように注意してください。

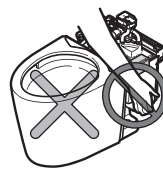
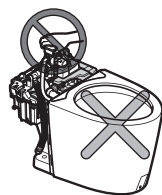


便器の持ちかた



注 意

機能部を持つと破損する
おそれがあります。

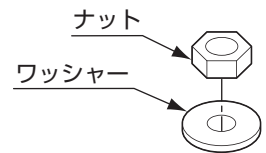
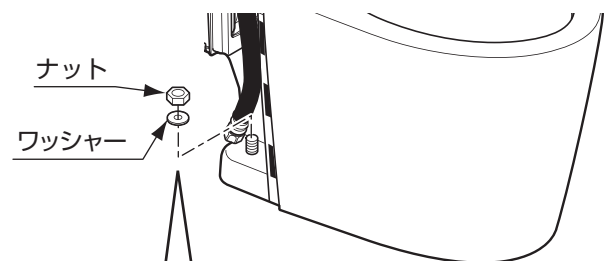


手順4

便器側の取付穴（2カ所）をワッシャー、ナットで固定する。

注 意

ナットを確実に締めてください。
ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



※ワッシャーの向きを
間違えないこと。

注 意

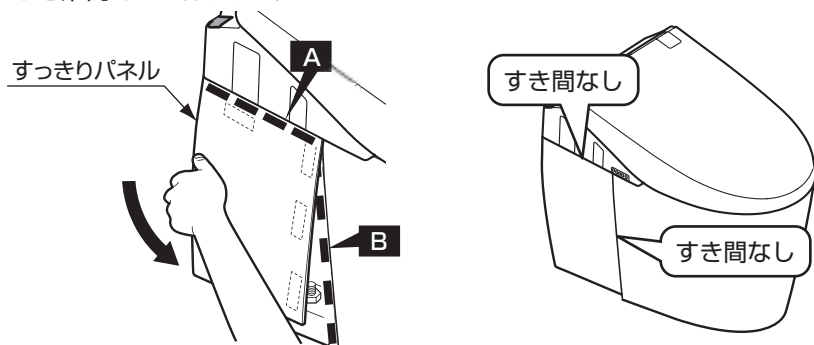
最後の締め増しは、**手締め**に
より行い便器を割らないよう
に注意してください。

ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

すっきりパネルの取り付け

すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間がないように取り付ける。
※面ファスナー部（4カ所）をしっかり押さえてすっきりパネルが外れないこ
とを確認してください。

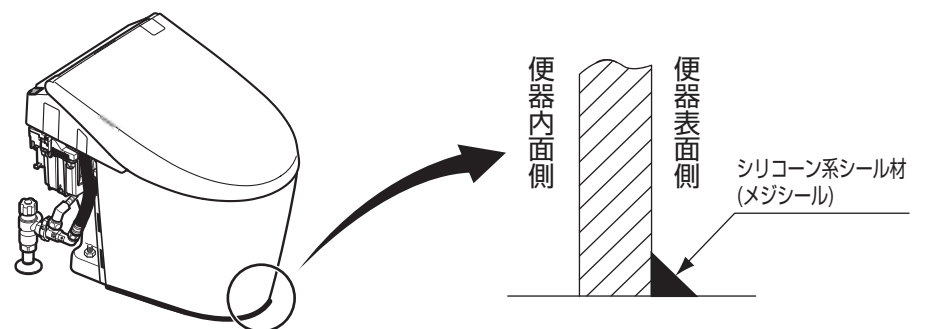


※すっきりパネルが取り付けられない場合は、給水ホースの接続方法を確認して
ください。
接続方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こ
ぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生するこ
とがありますので、おすすめできません。

フローリング（木質系）を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性の
シリコン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。



防振シート HR800S(別売品)
防振シート用固定ねじ HH04084(別売品)

集合住宅(RC構造)では、トイレの小便時の音が階下へひびくことがあります。
TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取り付
けることで、床を通じて階下へ伝わる小使行為音(伝搬音)を効果的に低減
しますのでご利用されることをおすすめいたします。

防振シートをご利用される際は、防振シート用固定ねじ(別売品)も必要と
なります。

防振シートの厚み分(5mm)、排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。

取り付け後の確認

- ・ 試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認
してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・ 陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触し
たり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡がつくことがあります。
スジ状の跡がついた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽く
こすって除去してください。
- ・ 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、
配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤
なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗が残
りの原因となります。